

# 教科別採択教科書報告書

教科書採択検討会議 開催日：令和2年6月19日

参加者：藤川 大祐 三宅 健次

教科名 美術	分野等 美術
出版社 開隆堂	書名 美術1 美術2・3
<p>1. 新しい学習指導要領への対応について</p> <p>要領による美術科の目標に照らして、内容が適切に取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・美術1および美術2・3において、目標および内容のA表現(1)「絵や彫刻など」、(2)「デザインや工芸など」といった包括的な領域に沿った学習内容となっており、様々な領域から、豊かに発想し、構想を練る力を育てる工夫がされている。</li><li>・B鑑賞(1)イにある「身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し」では、どの頁にも日本の著名な作家若しくは、伝統的な工芸作品、及び身近にあるモダンデザインが載っており、美術の理解や見方を広げるための工夫がされている。</li></ul> <p>生徒の興味・関心・意欲を高めるような資料や生徒作品が数多く掲載されており、授業で行うことの内容が補足的・発展的に学習できるように配慮されている。また、資料に対しての説明も詳細であり、頁の構成が見やすく工夫されている。</p>	
<p>2. 内容について</p> <p>学習のねらいが新学習指導要領の3つの領域に分かれて分類され、各題材の扉のページに明確に示されている。また、他教科や社会との繋がりを意識した観点も明記しており、学びに汎用性を持たせている。</p> <p>作品には、著名な作者や生徒の制作意図が載っており、制作者の思いを汲み取りやすくするための工夫がなされている。</p> <p>各題材のページや、巻末の学びの資料には、QRコード付きの動画がふんだんにあり、現段階で唯一動画配信がされており閲覧することができる。また、動画の内容も分かりやすく編集されており、実際の授業時に即使用ができる。また、ICTを活用する題材も数多く取り上げている。</p>	
<p>3. 造本等について</p> <p>印刷は鮮明であり、紙質や製本は適切である。</p> <p>A4ノビの大判であり、重量・厚さも適切であり、見開きの体裁や画面の作品数、挿入の大きさも効果的に用いられている。</p> <p>美術2・3が一冊にまとめられており、紛失の懸念が無く、扱いやすい。</p>	